まちの話題

豊岡

第4回コウノトリKIDSクラブ —ビオトープの生きもの調査—
どんな生きものがいるかな？

9月26日、コウノトリの郷公園内のビオトープで、第4回コウノトリKIDSクラブ—ビオトープの生きもの調査—を開催しました。

参加した子どもたちは、網を片手に、ビオトープや周辺に生息するゲンゴロウ、カエル、トンボ、バッタ、アメンボなどの生きものを夢中で捕まえていました。

子どもたちは、自分たちが捕まえた生きものを、図鑑を使って、生態などを調べたり、市職員の説明やほかの子どもたちの発表を聞き、知識を深めていました。

最後、捕まえた生きものを、元の生息場所へ帰し、調査を終了しました。

▲生きものを探す子どもたち

城崎

但州湯島の盆
過ぎ行く夏を惜しみ邦楽の調べと優雅な踊りが温泉街を彩る

9月18日、「但州湯島の盆」（豊岡市商工会城崎支所主催）が城崎温泉街で開催され、踊り手や三味線・胡弓・尺八などの地方約100人が大谿川沿いを優雅に練り歩きました。

これは、江戸時代、忙しくて里帰りできない温泉街の芸妓さんが、1カ月遅れの盆を楽しむため踊ったのが始まりとされています。

昭和中期ごろに途絶えた風習を平成17年に、地元有志らが、当時歌われていた「城崎小唄」に振りを付けて復活させ、翌年に「但州湯島の盆保存会」を設立して継承しています。

観光客らは、少し秋めいてきた夜風に吹かれながら、一夜の宴に酔いしれていました。

▲三味線や胡弓・尺八の音色に合わせ柳並木を思わせるゆったりとした踊りを披露する踊り手

竹野

中学生の育児体験
母親への感謝の気持ち「生んでくれてありがとう」

10月1日、竹野南地区公民館で、中学生の育児体験を行い、森本中学校3年生13人が参加しました。

当日は、中学生たちが、竹野子育てセンターの指導員や市の保健師の指導のもと、当センターに登録している母子などと交流しながら、0歳児から2歳児までの乳幼児を抱きかかえたり、自分たちの手作りおもちゃで一緒に遊んだりして、子育てを体験しました。

参加した定元拓也君は「赤ちゃんが笑顔になったときは、うれしかった」と、また、宇野有紀さんは「手作りのおもちゃを気に入ってくれてよかった」と話していました。

▲赤ちゃんの母親からアドバイスを受けながら、こわごわ「抱っこ」に挑戦する中学生

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

第43回日本女子ソフトボール1部リーグ
大興奮！ 世界的プレーヤーが目の前に!!

10月2日と3日の2日間、県立但馬ドームで、世界一競技レベルが高いリーグと言われる「日本女子ソフトボール1部リーグ」を開催しました。

北京オリンピック金メダリストも所属する4チームの選手たちが、ハイレベルな試合を繰り広げ、そのパワーとスピード、技の数々が観戦に訪れた観客を終始魅了していました。

大会終了後には、地元中学生を対象に「シオノギ製薬」(尼崎市)の監督、コーチ、選手による技術指導クリニックが行われ、子どもたちが感動やあこがれ、夢を育むまたとない機会となりました。

▲ハイレベルな熱戦に釘付けになる観客

出石

たじま花と緑の教室「10月講座」
季節の彩りは　まずわが家から

10月19日、出石農村環境改善センターで、たじま花と緑の教室を開催しました。

この教室では、県立フラワーセンター園芸講座講師の宮垣義巳さんの指導のもと、初夏のハーブの寄せ植えやクリスマスの寄せ植えなど、毎月季節に合った寄せ植えを教えていただきます。

今回は、「カラーリーフを楽しむ寄せ植え」で、マングローブやタコの木など南方系の植物がガラスの器にきれいに並びました。

参加者は、出来上がった寄せ植えを見ながら、「すっきりとすがすがしい印象で、秋らしい」とうれしそうでした。

▲1本1本愛情込めて植え付け

但東

田舎暮らし体験in豊岡
あこがれの田舎暮らしに 意欲沸く!?

9月25日と26日の2日間、但東町で田舎暮らし体験を開催し、神戸市などから訪れた5人が、「田舎暮らし」に挑戦しました。

参加者は、野菜の種まきや収穫、古代米もちつき、近隣の田んぼにたわわに実ったコシヒカリを手刈りしたりと、農作業を通じて地元農家と交流しながら、田舎を体感しました。

豊岡で空き家を探している中尾裕次さん(神戸市)は「農作業の経験はあるが、初めて知ることが多く感心した。地元の方との結び付きができれば頼もしい」と話していました。

地元産のおにぎりや具だくさんのみそ汁などで彩られた昼食は大にぎわいでした。

▲「稲刈り」を手刈り体験する参加者